

# 孤立をふせぐ。何度でもチャレンジできる。

日本人の健康寿命は伸び続け2016年には世界第2位を記録していますが、幸福度では58位。健康で長生きしているのに幸せてないのはどうしてなのかをずっと考えてきました。将来への不安を大きくする孤立と貧困を防ぎ、たがいに支えあう社会の実現をめざして活動したいと思います。

## 広がる反貧困の取り組み

被災者支援をきっかけとして生活困窮者や子どもの貧困に取り組んで来た8年間。「国の施策では足りない部分を民間の力で補おう」とフードバンク岩手などの立ち上げに加わり活動をしてきました。市民の皆さまやNPO、民間企業、そして行政や社会法人からも多くのご協力をいただき、活動は大きく広がっています。心から御礼を申し上げるのと同時に、今後もこの活動をさらに広げて『制度としての定着』を図っていきたくと考えています。引き続きよろしく願います。



### ■多様、公正、支えあう政治をめざします。

「多様」は発展を産み「公正」はやる気を起こさせます。自分のことではないからと貧困を放置すれば景気全体が悪くなります。福祉削減などの緊縮財政に反対し、市民がたがいに「支えあう」施策を推し進めます。

### ■生活に直結する視点を持ち続けます。

私が福祉に重点を置いているのは、それが景気浮揚や治安の安定につながるからです。特定のイデオロギーや団体の利益からではなく、市民生活を利する施策を選択します。

## デフレ克服に必要なのは積極財政

なぜ貧困が広がって行くのかを考え続けた8年間でもありました。他の先進国でも所得や資産の格差が広がり、排外主義を掲げる政治勢力が大きくなっています。互いに助け合う民主的な政治は『真面目に働けば暮らしが良くなる』と思える国でしか実現できません。日本の経済を好転させるためには需要の拡大が必要です。でも、お金を使うことにためらいを感じる人が多い。それは賃金が上がらないからです。年金がどうなるか解らないからです。この原因はデフレにあります。

国や地方自治体が緊縮財政を続けている限りデフレ克服は難しいと考えるようになりました。もっと福祉や教育に予算を割くことで景気の底上げをしたいと考えています。

## すべての人が社会参加できるように

貧困と同様に大きな問題だと思うのは孤立です。ひとり暮らしが増え、誰とも話しをせずに一日が終わる人も少なくありません。孤立は心身に悪影響を及ぼします。孤独な環境は急性ストレス反応を起こしやすく、免疫力が低下するという米国の研究もあります。

趣味や社会活動の場についての情報がもっと手軽に入手でき、自分に合った社会参加を選べるように変えていきたいと思えます。幸せに暮らせる街を一緒に作りましょう！

### 困った時に「助けて」と言える街に

貧困を減らすためには格差是正の税制と社会保障制度の抜本的改革が必要ですが、同時に「困った時に相談する人がいない」ことが問題をさらに長期化・複雑化させています。NPOなど相談をしやすい民間団体と市や関係団体の連携を強化することで、効果的な支援につながるようになります。

子ども食堂がさらに広がるように支援します。また、様々な年代や経験を持つ大人の参加を増やしていくことで子どもたちの世界を

広げるとともに、保護者の相談にも応えられる「地域食堂」ができるよう努力します。



### ひとりぼっちにしない、させない街に

18年推計で一人世帯は35%を越え、15年の内閣府調査では「人とほとんど話をしない」ひとり暮らし高齢者は7%と、他国に比べても大変多い割合でした。孤独は心身に悪い影響を与えます。人との関わりを持っ

て暮らせるような情報発信としくみづくりに取り組めます。また、社会的ひきこもりの支援を継続します。

- ◆ポランティアやサークル活動などの積極的情報提供
- ◆グループホームなど老後の生活場所の選択肢を増やす
- ◆社会的ひきこもりの調査・支援

### 自家用車がなくても暮らせる街に

高齢者の自動車事故が大きな社会問題になっています。車がなくても暮らせるようにしていく必要があります。バスや電車などが使いやすいくなるよう市民の意見を集めます。また、オンデマンドタクシー（乗り合いタクシー）など新たな手段を研究します。自転車については走行レ



ーの延長と交通安全の啓発を続けます。日常的な買いものなどに不便しないように移動販売などの研究を行うのと同時に、各地区で必要最小限の機能を備えた「コンパクトシティ」の実現をめざします。

- ◆バスや電車など公共交通を使いやすく
- ◆オンデマンドタクシーなど新たな交通方法の研究・実験
- ◆自転車走行レーンの延長・交通安全啓発
- ◆移動販売など買い物支援の研究

### ひとりひとりが大切にされ、公正な街に

価値観や生活様式が多様化するスピードに制度が追いついていません。ひとり親家庭やステップファミリー、障がい者、外国籍、LGBTの人達など社会で数の少ない立場の人たちが暮らしづらい所を改善し、様々な立場を理解するための啓発に努めます。日本の自殺者はいまだ2万人を越えてお



り、19歳以下だと増え続けています。生きづらさを抱える人を放置せず相談体制の強化につとめます。特に学校へのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を増やすよう努力します。

- ◆社会的少数者の権利擁護
- ◆後見人制度の改善・市民後見人育成
- ◆面会交流など離婚後の家族支援
- ◆学校カウンセラー・ソーシャルワーカーの増員

### 働きたい人がすべて働ける街に

被災者やニートと呼ばれる人たち、障がい者や病気治療中の方々が、自分に合った仕事に就くことで生き生きと変わるのを見て、仕事は生活のためだけでなく社会参加の一つの形だと考えるようになりました。「働きたい」と思っている人全員が仕事に就けるようなくみを研究し、施策化します。また、非正規労働者への差別待遇など、尊厳を踏みにじる行為を許しません。

- ◆障がい者・病治療期 若者 中高齢者の就労支援
- ◆非正規雇用労働者などの労働条件改善
- ◆産休・育休・病休を取りやすく
- ◆テレワーク（在宅勤務）など多様な働き方を促進



### 消費税は5%に引き下げを

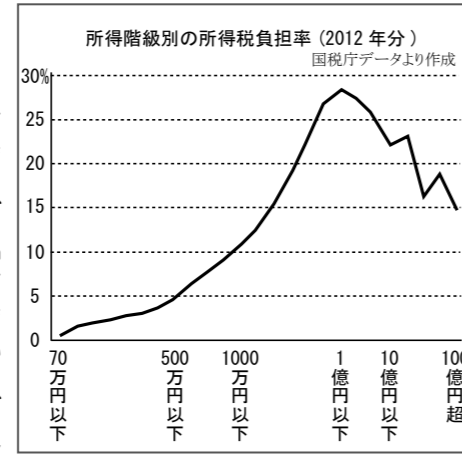
デフレに突入してから早20年。他の先進国が成長しているのに日本だけが足踏み状態で経済成長率は世界で166位という状況です。デフレは貧困、非正規雇用の増加、自殺、地方の衰退、格差など様々な問題の背景になっています。日本がデフレから脱却できない理由は、緊縮財政と所得格差です。消費税増税がリーマンショック以上の悪影響を与えたことを考えると、景気失速が統計で示されている現在、消費税の引き上げをしてはいけません。むしろ減税すべきです。

### 「財政危機にならない？」

税金は会社や家計の収入とは異なり①インフレのコントロール②資産所得格差の是正③政策的誘導（二酸化炭素排出抑制のための炭素税など）④労働力の再配、などのためにあります。国は貨幣が発行できますし、日銀に払った国債の利子は国庫納付で国に戻ってきます。インフレのコントロールをしっかりとすれば「国が財政破綻する可能性はない」のです。景気を向上させ、豊かな社会をつくるために福祉や教育、インフラ整備などに国はもっとお金をかけるべきです。

### 景気回復・完全雇用の格差是正のための税制を

下の表は日本の金融資産（現金預金や株式・証券、その他債権など）の所有が富裕層に偏っていることを示しています。17年の日本の富裕層は126万世帯、純金融資産総額は299兆円。15年からの2年間で世帯数は4%、純金融資産総額は9.9%増しました。現在の日本の税制では、金融資産の保有に税金はかかりません。



右は所得別で「所得税をどれだけ負担しているか」を示したグラフです。1億円までは所得が増えるほど税負担は重くなるのに、1億円を越えると税負担は低くなっています。これでは、国民の資産格差・所得格差は開き、景気低迷に陥るのは当然です。

2018年野村総研作成		2005年	2007年	2009年	2011年	2013年	2015年	2017年
超富裕層 (5億円以上所有)	金融資産額	46兆円	65兆円	45兆円	44兆円	73兆円	75兆円	84兆円
	世帯数(万)	5.2	6.1	5.0	5.0	5.4	7.3	8.4
富裕層 (1~5億円所有)	金融資産額	167兆円	189兆円	150兆円	144兆円	168兆円	197兆円	215兆円
	世帯数(万)	81.3	84.2	79.5	76.0	95.3	114.4	118.3

- ①金融資産への課税
  - ②法人の特別優遇の廃止
  - ③総合累進課税の強化（高所得に高税率）
- 以上、3つの改革が必要だと思えます。





フードバンクで  
困窮者に食料支援



被災地支援



ホスピスボランティア講座



自転車走行レーン



青山雪あかり



議会基本条例

### ◆社会保障・福祉の強化

- ・フードバンク岩手結成に尽力
- ・被災地ボランティア受入に奔走
- ・県内のホスピス設置に尽力、ホスピスボランティアの養成講座開催

### ◆子ども支援

- ・岩手にチャイルドライン設置
- ・犯罪に巻き込まれにくい公園設計提案
- ・不登校・ひきこもり支援
- ・高校まで就学無償化を
- ・「マンガ家岩手応援ツアー」案内人
- ・面会交流支援などを行なう「FPIC 盛岡ファミリー相談室」会員

### ◆まちづくり

- ・自転車条例、車道に自転車レーンを実現
- ・新駅アンケート調査、青山新駅設置実現
- ・青山町覆練兵場保存
- ・青山雪あかりの実施
- ・八幡番屋の望楼や旧岩手川「浜藤の酒蔵」保存活用提案

### ◆雇用・景気回復

- ・すえ置きになっている指定管理事業委託料の見直しを着手させる
- ・低金利の今こそ福祉や生活関連事業費の増員増額を提案

### ◆市民参加・民主主義

- ・政務調査費領収書添付義務を実現
- ・市長の退職金大幅減額実現
- ・築川ダム利水縮小
- ・市議会インターネット中継一部実現
- ・子どもたちによる青山新駅レンガタイル貼りワークショップを実施

## 主な活動実績

## いせ志穂のあゆみ

◆1962年盛岡市生まれ(57才) ◆厨川小、厨川中、盛岡三高、岩大教育学部特美(中退)、パート後、アイワ岩手に勤務 ◆99年盛岡市議当選。既成の政党・団体からは支援を受けずにボランティア選挙と社会活動を続ける。 ◆06年城西中PTA会長 ◆10年チャイルドラインいわて結成時呼びかけ人(18年から事務局長) ◆孝仁病院緩和ケア病棟ボランティア ◆青山まちづくり協議会企画・広報部会 ◆東日本大震災での経験から、困窮者支援の必要性を痛感。『フードバンク岩手』の結成に参加し活動 ◆高齢化・少子化が進む中で『孤立せず楽しく暮らせる盛岡』を作ろうと試行錯誤中 ◆マンガ好き。それ以上に活字中毒

あなたの”不安“を  
教えてください

困ったことや不安の解決が住みやすい街をつくると考えています、相談のみならず、意見、要望、不安に思っていることなどをお寄せください。  
(匿名でもかまいません)



## ボランティアとカンパ募集中



いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。このニュースを知人に手渡す、ポスティングするなどお手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いします。デフレの影響で賃金がなかなか上がらない中で大変心苦しいお願いですが、可能な場合はカンパへのご協力もよろしくお願いします。

(郵便振替口座 02280-9-140755 口座名称 市民会議)

事務所 盛岡市青山3-29-4 〒020-0133 電話・FAX 645-8510

自宅 盛岡市前九年1-9-26 〒020-0127

<http://ise.nahan.jp/> E-mail:ise@nahan.jp

